

第89回全道メーデー

労働法制改悪と不公正格差撤廃 訴える！

札幌地区ユニオンは5月1日大通西8丁目広場で開催された第89回全道メーデーに参加しました。会場には組合員・市民等5千人弱が参加しました。同集会ではアトラクションの後、安部政権の不正を徹底究明すべきとのメーデー宣言や労働法制改悪反対の特別決議案を採択しました。デモパレードで札幌地区ユニオンの組合員30名は北海道季節労働組合札幌地区本部組合員と共に「すすきの」までの約1.5キロを行進し労働法制改悪断固阻止、働く者の不公正格差撤廃、安倍政権打倒等を力強くアピールしました。



デモパレード終了後約30分間テレビ塔付近で労働法制改悪反対を呼びかけるチラシ配布行動を実施しました。拡声器・マイク等を使用せず、組合員一人一人が個別に市民へ働き方改革法案・労働法制改悪の恐ろしさを説明し法案反対を呼びかけました。12時30分からは恒例の学習交流会を開催し、「アリさんマーク引越社争議」・「しゃぶしゃぶ温野菜争議」の記録映像を見ながら意見交換をしました。

